

この前気付いてびっくりしましたが、なんと、夏休みまで残り1ヶ月を切ってしまいました。今年度になって、時間の流れが加速しているようになりません。子どもたちにとっては、1学期のまとめに取り掛かる大切な時期でもあります。学年の初めに立てた目標を思い起こして、自分の成果を見つめてみることも必要です。ご家族から見た成果も伝えてあげてください。その時、必ず、まずは“できたこと”に目を向けてください。やり遂げるべきことが100あったとして、そのうち10できていたとしましょう。10/100です。「ぜんぜんダメじゃが、90も足りん!」と減点法で見るのではなく、10できたことを認めて、残りの90をクリアしていくことへの意欲を喚起してあげてください。加点法で見えていくことが大切です。10/100を認めるということは、「10/100でよい」ということではありません。10できたことを自信にして、次の20獲得を目指す気持ちを高めることがねらいです。20の次は30、その次は40…と、主体的に取り組んだ先に、ゴールの100があるのだということを意識できるような関わり方が、子どもたちの力を伸ばしていくのだと感じています。

今週末は、土曜参観日です。教育後援会として、倉敷市立玉島小学校の前校長、高津智子先生をお招きしています。西日本豪雨で真備町に甚大な災害があったとき、一時は1,000人を超える被災者を学校に受け入れた経験をおもちです。誰もが経験したことのない状況の中で、他県からの支援者や地域の人々と力を合わせながら、苦難を一つ一つ乗り越えた体験談をお聞きしておくことは、これからの私たちの生活に生きてくると思います。私自身も、高津先生とお話して、“当たり前”を見直すことの重要性を考えさせられました。例えば、避難訓練。合言葉を覚えておられるでしょうか。「お・は・し・も」です。「押さない、走らない、しゃべらない、戻らない」の頭文字です。これまで、何の疑いもなく避難訓練では、子どもたちにこの合言葉を発していました。しかし、本当にそれでよかったのか考えさせられています。教師が安全を確認しながら先導して避難しているからできることだったと思うのです。でも、実際に子どもたちが災害に直面した時、自分の判断で自分の安全を守る力を身に付けておくことが必要で、そのための避難訓練でなければなりません。だから、高津先生は言われます。「必要な声は出す。むしろ、命を守るために声を掛け合うことを教えなきゃ。」私が教員になったときから当たり前のように続けてきた避難訓練のあり方、見直す必要がありそうです。いつ自分に降りかかるかわからない大災害。それに備えるために、間接体験は有益です。ご多用な日々だとは思いますが、お繰り合わせの上ご参加いただけたらと思います。よろしくお願いします。

校長 高木 盛雄

☆水泳シーズン到来！6年生・5年生のおかげでプールがきれいになりました。



☆5 年生が「海の学習」に行ってきました！～渋川青年の家～

カッターは、みんなで協力して最後までこぐことができました。速くこぐためのコツをしっかりとできました。目線を意識して話を聞くこともできました。カッター訓練は、船べりだったので水が入って来てたいへんでした。カッターをこぐオールを上にしたたり、安全に気を付けたりすることができました。

(5年生児童)



自分たちで拾った貝殻を使ってできたのがよかったと思いました。

自分ががんばったことは、穴をあけるときです。少し時間がかかったけど、二人で協力してできました。

(5年生児童)



いかだ遊びは、最初は「かんたんそうじゃ」と思ったけれど、いざ、実践してみると、なかなか思い通りにはいかなくて、海に何度も落ちてしまいました。見た目はかんたんそうでも、やってみると難しいこともあったと学びました。

(5年生児童)



地引網では、たくさんの魚がとれました。マダイ、チヌ、水クラゲ、ボラの4種類がとれました。大変だったけど、がんばりました。

(5年生児童)

海の学習では、秩序・友情・実践がめあてでした。海の学習で学んだことを学校でも協力して、どんどんみんなときずなを深めるために、これからも意識してがんばりたい。

だまって並ぶや、姿勢や目で聞くことを意識して、これからも学校生活をもがんばりたい。退所前点検は、1回失敗したけど、次がんばるとできたので、学校でも生かしたい。

(5年生児童)



5分前集合ができていたので、授業前に全員で5分前に席につきたいです。

みんな協力してできていたので、それが友情だと学び、学校でも更にもみんなと協力して友情を広げていきたいです。みんなががんばって一生けんめい部屋などを整理していたので、みんなの実力が認められたと思います。

みんな、秩序・友情・実践ができていたので、学校でも海学で学んだことを生かして取り組んでいきたいです。

(5年生児童)

カッター研修では、目で見るということをあらためて教わり、学校でも生かしてがんばりたいと思いました。また、海の環境問題についても学びました。いかだ遊びでは、自分は、協力してがんばることを学んだと思います。キーホルダー作りでは、アイデアをみんなと共有できたと思います。

みんなと協力して楽しみながら研修することができたので、よかったです。海の学習で学んだことを生かして、学校で目を見て話を聞くなどのことをがんばりたいと思います。

(5年生児童)